

# 平成27年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立浦和高等学校)

目指す学校像	中高一貫教育校として、浦和中学校と連携を密にし、生徒の個性と能力を重視した特色ある教育活動を展開する。
重点目標	1 中高一貫教育校としての更なる充実 2 高い次元におけるバランスのとれた教育の充実 3 国際理解教育と開かれた学校づくりの推進

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高一貫教育校として進路実績等で高い成果をあげている。中学校からの内部進学生と高校からの入学生がお互いに高め合い切磋琢磨する環境づくりを進め、学校全体の教育力向上をさらに進めることが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高一貫教育の更なる充実</li> <li>高校入学生と内部進学生が互いに高め合う教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「チーム市立浦和」の合言葉の下に、中高の教職員の指導体制の充実を図り、中高の教育活動をさらに充実させる。</li> <li>②教育課程等を検討することにより、高校入学後における内部進学生と高校入学生の高め合いについて研究する。</li> <li>③学校自己評価アンケート質問内容の見直し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①中高合同の行事の実施状況、つなぎ学習の状況、中高合同研修会の回数。</li> <li>②教育課程委員会等での検討の状況</li> <li>③中高一貫教育の現状と課題を計るアンケートの作成と実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「チーム市立浦和」の合言葉の下に、中高合同の会議で相互に情報・意見交換を行い、中高合同行事を滞りなく実施した。つなぎ学習は7教科、37単位分(担当17名)を行った。中高合同研修会では中学から高校への橋渡しについての検証をした。</li> <li>②内部進学生と高校入学生の高め合いについては、可能な方策を研究し実施しているが、教育課程の検討にまでは至らなかった。</li> <li>③「本校では、中学と高校の連携がうまくいっているか」のアンケート質問を加えた。保護者、生徒の8割は、「うまくいっている」と回答。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「チーム市立浦和」の合言葉の下に、教職員の士気を高め、中高一貫教育校として学校全体の教育力向上を図るとともに、さらに充実させるための議論を活発化する。</li> <li>②中学校からの内部進学生と高校からの入学生がお互いに高め合い切磋琢磨する環境づくりをさらに進める。教育課程の検討にも着手する。</li> <li>③来年度、10年目の節目を迎えるにあたり、本校の中高一貫教育の現状と課題を改めて把握し、学校運営等に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校関係者からの意見・要望・評価等</li> <li>中学校からの内部進学生と高校からの入学生がお互いに高め合い、切磋琢磨する環境の中で、学校行事や部活動などが充実しているだけでなく、たいへん素晴らしい進学実績を達成している。</li> <li>内部進学生と高校入学生の交流は相乗効果がある。内部進学生と高校入学生の融合については、できるだけ配慮し、息の長い検討をお願いしたい。</li> <li>生徒、保護者、教職員が高校の3年間を極めて有意義に使っていることが分かる。</li> <li>本校に入学して良かったという感想が多いが、100%を目指してほしい。満足していない生徒、保護者のフォローも必要である。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒や保護者の高いニーズに応えるために各教員が授業の質と技量を高め、生徒の学力を向上させて進路実績につなげることが課題である。</li> <li>高い規範意識や強い精神力、コミュニケーション能力を備えた「知・徳・体」のバランスのとれた将来の社会のリーダーを育てる指導が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業力の向上</li> <li>「人間力」を高める生徒指導の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学力向上委員会を中心として各教科、分掌と連携して学力向上に組織的に取り組む。</li> <li>②生徒による授業評価、教員相互の授業見学を実施し、各教科の授業改善に生かす。</li> <li>③部活動を推奨するとともに、学校行事の充実を図る。</li> <li>④登下校時の交通マナー指導や女子生徒のスカート丈等の身だしなみ指導を徹底する。</li> <li>⑤「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止の取組を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①大学入試センターの受験率・得点状況。国立大学や難関大学合格者数。</li> <li>②生徒による授業評価の結果、公開授業見学の実施状況。</li> <li>③部活動の加入率や成績。</li> <li>④交通マナーの遵守や身だしなみの状況</li> <li>⑤いじめ防止のための取組やアンケート結果の状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①センター試験受験率は94.4%。5教科総合、文系、理系の偏差値はすべて昨年度を上回った。文系は過去最高の成績(ベネッセによる偏差値)</li> <li>②1,2学期に授業評価アンケートを行い、全ての教員に結果をフィードバックした。校内公開授業期間を2週間とした。</li> <li>③運動部加入率67.7%、文化部30.8%。インター外部、放送部が全国大会出場、サッカー部、陸上部、吹奏楽部が関東大会に出場した。</li> <li>④スカート・ストリート教室、保護者による登校指導を実施し意識啓発と交通マナーアップ。また生徒指導部を中心に身だしなみ指導体制を築き、違反ポイント、短いスカート丈は改善しつつある。</li> <li>⑤いじめ防止対策委員会を中心に「いじめアンケート」を毎学期実施して、いじめを早期発見し対応する体制を構築し、組織的に取り組んでいる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学力向上委員会を中心となって実施した「36時間学習マラソン」などの充実・発展を目指す。また、大学入試改革によって求められている力を育成するための指導等の研究も考えていく。</li> <li>②生徒、保護者の高いニーズに応えることのできるように授業の質をさらに高め、進路実績につなげる。校内公開授業期間の授業参観を活発化できるよう、さらに工夫する。</li> <li>③部活動を奨励して文武ともに高める取組を一層充実させる。</li> <li>④引き続き登下校の交通マナー指導や身だしなみ指導の徹底を図り規範意識を育てる。</li> <li>⑤いじめ防止基本方針に基づいて、引き続きいじめのない学校づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒、保護者のアンケート結果から学習指導に対する要望が高いことが分かる。生徒、保護者の高いニーズに応えるために各教員が授業の質を高め、生徒の学力を向上させて進路実績につなげることが求められる。</li> <li>短期的な結果だけではなく、将来を見通したキャリア教育、他人を思いやる人間育成の指導、礼儀や挨拶などの躰教育も必要であると感じる。</li> <li>生徒、保護者のアンケート結果を見ると、進路情報の提供についての満足度が他に比べると低くなっている。さらにきめ細かい進路指導をお願いしたい。</li> <li>先生方の勉学、部活動等の指導にたいへん感謝している。今後も両立できるように指導をお願いしたい。</li> <li>登下校の様子を見ているが、素晴らしい生徒だと感じる。今後も引き続き指導をお願いしたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな視野を持つとともに自分の考えや意見を発信でき、国際社会の中で主体的に行動できる人材の育成が求められる。</li> <li>ホームページ、土曜公開授業、学校説明会、中学校訪問など様々な機会を活用し、より積極的かつ組織的に情報を発信することが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解教育の推進</li> <li>開かれた学校づくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①海外修学旅行、姉妹校との相互交流や留学生受入及び派遣を推進する。</li> <li>②発表、討論等の言語活動を高度化した英語教育や教養を身に付けさせる教育を推進する。</li> <li>③ホームページをさらに充実させるとともに、安全で確実なメール配信システムを構築する。</li> <li>④学校説明会や土曜公開授業、中学校訪問の更なる充実を図り、学校外に対して本校の魅力をさらに発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①国際交流等の取組の実施回数と内容。</li> <li>②資格・検定試験の合格状況、大会の入賞者数。</li> <li>③ホームページの更新回数及び閲覧回数。</li> <li>④土曜授業、学校説明会の参加者数やアンケートの満足度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①海外修学旅行、姉妹校交流、短期派遣事業、グローバルセミナー、豪州高校との音楽交流などにより国際理解を深めた。長期(1年間)留学生4名派遣、1名受入。</li> <li>②インター外部が全国英語ディベート大会で優勝。英語弁論大会、英作文コンテスト等で上位入賞。英検1級に1名合格した。準1級合格者は10名在籍。</li> <li>③ホームページの更新を随時行い、本校の教育活動を生徒・保護者のみならず、広く地域に発信。平成25年11月のリニューアル後のアクセス数は116万件。</li> <li>④夏と秋に学校説明会を計14回開催し、計2,800組(約5,000名)参加。土曜公開授業は計1,002名の中学生及び中学生保護者などが来校した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>①海外修学旅行や、その他の様々な国際交流の機会を、有機的に結びつけ、生徒の国際理解の意識向上をさらに進める。</li> <li>②発表、討論等の言語活動を高度化した英語教育や英語ディベート等のアクティブラーニングを推進する。</li> <li>③ホームページによる学校からの情報発信は、現在の頻度を維持する。今年度は間に合わなかったメール配信システムの整備を行う。</li> <li>④多くの教員がさいたま市内、市外の中学校を訪問する体制をつくり、中学校及び入学希望者に対して本校の魅力をアピールする。また、学校説明会では生徒をうまく活用するなどの工夫も必要である。次年度の課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターアクト部の全国英語ディベート大会優勝、国際交流や海外研修による国際理解教育の推進を高く評価する。</li> <li>インターアクト部に代表されるように、生徒たちの将来に本当に役に立つコミュニケーション力を今後とも涵養していただきたい。</li> <li>グローバル社会の担い手を育てるうえで、様々な国際交流活動が行われていることは大変貴重である。今後も海外修学旅行、姉妹校交流など世界に向けた教育活動をお願いしたい。</li> <li>近隣の小学校と高校、中学校と高校の交流の機会があれば、ぜひお願いしたい。</li> </ul>

